



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>

第20号（平成19年11月）



残されて 空を占めたる 里の柿

私塾ネット 副理事長 梶原 賢治

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 仲野 十和田
〒173-0005 東京都板橋区仲宿 55-8-205 ナカジユク内
TEL 03-3963-5572 FAX 03-3963-2529
Mail Address: jimukyoku@shijuku.net

理事長 谷村 志厚
047-368-2729
広報部長 監物 一男
048-688-6903

エリア関東 進学情報交換会開かれる

私塾ネット エリア関東進学部々長 桂馬 辰尚



熱心に各学校の先生方の説明を聞く参加塾の先生方

10月28日、新宿区立産業会館「BIZ新宿」において5校7名の私学の先生方のご出席を頂き、私学情報交換会が開かれました。当日は、前日の台風20号の影響で天候が心配されましたが、台風一過で晴れ晴れとした天候に恵まれ、記念すべき日となりました。



参加校は「日本音楽高等学校」「村田学園小石川中学校・村田女子高等学校」「開智中学・高等学校」「立正学園中学高等学校」「二松学舎高等学校」でした。

今回ご出席の先生は、村田女子高等学校・小石川女子中学校広報主任・武雅裕先生、二松学舎大学附属高等学校副校長・木村誠次先生、日本音楽高等学校校長・小山久夫先生、同教頭・中野道代先生、同教頭・松本幸浩先生、立正中学校高等学校入試広

報・岩永一陽先生、開智中学校高等学校校長・高野孝先生（以上私学情報交換会第一部で説明された先生方の順）。

第一部の情報交換会では、まず各学校の先生方に20分の時間で、学校の最新の情報をご説明頂きますが、入試の説明でも、学校の特色でも、又話題でも、その内容に決まりはなく、先生方の自由なご説明をお願いしており、その先生方のお人柄を浮き彫りにしようと言う企画で行っております。

トップバッターの武先生は、創立者の村田謙造先生が、女性が社会で活躍する時代に、簿記や計算能力が必要であると商業科教育を始め、その商業科教育から普通科教育、そして女子中学校をスタートさせるまでの経緯を詳しくご説明頂きました。

二番手の二松学舎大学附属高校の木村先生は、埼玉県の秩父でお生まれになった先生が、なぜ教師になられたか切々と語られ、着任された二松学舎が母校であり、他大学受験に力を入れている現状を、資料をお示しになりながらご説明頂きました。

日本音楽高校は、小山校長先生から中野教頭先生、松本教頭先生とバトンタッチしながらのご説明を頂きました。小山校長が石川県能登で生まれ、埼玉で教師になられるまでの経緯を含めた自己紹介で始まり、続いて両教頭の、日本音楽高校が音楽教育にかける熱意と、そして大改革に臨む姿勢が伝わるお話はとても印象的でした。

立正中・高等学校の岩永先生は、立正学園の建学の精神「行学二道」の説明から始まり、御自身が児童劇団に入れテレビドラマやDVDに出演され、その中での時代劇の経験を経て歴史に興味を持たれ、社会科の教師になられたと言うお話には、出席者の多くが関心を寄せていました。

ラストの開智中・高等学校の高野校長先生は、新潟の三条市の教員のご家庭に育ち、中学高校時代は教師になりたくなかったと言う先生が、どのようにして先生になられたかは、この会でなければ聞けないお話であったと思います。先生方がこの会でお話し頂くのもご縁、又教師になられたのもご縁があったからこそであり、ご説明頂いた先生方の「人となり」が、短い20分のご説明の中で浮き彫りになったのではと思います。

今回、先生方には自己紹介の中で、ご出身地と教師になられた経緯をお話し頂き、ありがとうございました。どの先生方からも、先生方のお人柄が感じられる貴重なお話を聞く事ができました。なかなか学校説明会では聞く事のできない、本音で語る先生方の「人となり」を通して、学校の魅力が引き出されるのがこの会の良い所です。

今回は昭和63年にAIM学習セミナーで2校の先生方をお招きして以来、25回目になります。昨年に続き今回も情報交換会第一部で40数名のご出席を頂き、感謝申し上げます。

第一部の説明会が終了後、第二部の懇親会がBIZ近くの住友生命ビル51階「シャウッド」で開かれました。実は昨年までは、池袋の「カンポヘルスプラザ東京」で行われていましたが、閉鎖に伴い今回の場所に変更になりました。

恒例の懇親会は、私塾ネット・関東代表の鈴木先生の挨拶で始まり、私学を代表して京北学園中・高等学校校長川合正先生の御挨拶、私塾を代表して塾全協菅原理事長の御挨拶と続き、今年新しく着任された神田女学園中・高等学校校長の齊藤元治先生の乾杯で楽しい歓談の時がスタート。今回は60名を超える塾・賛助会員の私学の先生方のご出席を頂き、盛大な会となりました。

私塾ネット関東・総務部長渡辺浩先生の司会進行で始まった今回の懇親会では、新しい企画の出席者全員の30秒スピーチや、センター事務局長仲野十和田先生による、会場の照明を消しての夜景のイルミネーション説明など会場を沸かすものばかり。テーブルごとに私学の先生、私塾の先生のスピーチが懇親会の最後まで続き、同郷であることがわかり昔話を語ったり、学校の先輩・後輩の和ができた、楽しいひと時となりました。



説明会後の懇親会で親睦をはかる参加塾の先生方

51階の高層ビルの窓ガラスから見える大都会のイルミネーションは絶景で、出席者の皆さんは、時間の立つことを忘れ有意義な会になったと思います。私塾ネットの良さ、「1人はみんなのために、みんなは1人のために・・・」。会員同士が家族的雰囲気の中で大いに言いたい事を語り合う、すばらしい会で終わる事ができました。

二次会も場所を移して行われ、私学の校長先生が2名も残られると言う、これまでにない二次会の盛り上がりとなりました。三次会も、先生方気の合う仲間同士いくつもの場所に分かれ、行われたようです。

御出席の先生方、たいへんお疲れ様でした。ありがとうございました。



このイベントの功労者、桂馬先生。皆さんから大きな拍手が送られ、「来年もがんばります」と、心強いお言葉。



齋藤先生を囲んで関東鈴木代表・松浦先生・渡邊先生のも笑顔で乾杯。



何はともあれ、齋藤先生が仕切る中、住友ビル内で記念撮影が行われました。この写真を撮るまで、約5分間、教育者たちは新宿のオフィスビルでおおはしゃぎでした。しらふでカメラマンをしていた私はとても楽しかったですよ(笑)。

第28回私立中高進学相談会 平成19年9月17日「新宿NSビル」

私塾ネット 私塾ネット教務部長 加藤 実



続々会場入りする生徒諸君と保護者の方々。

回を重ねること実に28回、NPO法人になった塾全協主催による第28回私立中高進学相談会が平成19年9月17日「新宿NSビル」地下1回展示ホールにて午前11時より午後3時30分まで開催された。

私立中高 135校が参加。主催はNPO法人学習塾全国連合協議会、後援は東京私立中学高等学校協会・社団法人全国学習塾協会、協賛は我が全日本私塾教育ネットワーク・NPO全国教育ボランティアの会他、全国学習塾協同組合・東京私塾協同組合・私塾協議会・民間教育連盟、協力は学研・教育情報・声の教育社・進学研究 会・新教育研究協会・森上教育研究所、特別協賛が四谷大塚YTnet。

我々スタッフは朝8時30分集合。宅急便で届く学校からの資料を各学校のブースまで 運ぶ仕事から開始。伝票には番号が記載されていたのだが、ブースのところに番号がないため、結局学校名で各ブースを探すこととなった。五十音であったため、比較的簡単に学校のブースにたどりつくことが出来たが、番号で探せればさらに効率よく運べたのではないかと思った。来年はなんとかブース側にも番号を記載してもらいたいものだ。10時40分オープニングセレモニー、午前11時開場。3時30分閉会、3時45分閉会式。4時30分からワシントンホテルにて懇親会。午後6時15分閉会、解散。1校の説明を聞く度にスタンプを1個押してもらい、3個で1回抽選。これは空クジなし。景品はipodやDVDプレーヤー など。4校目のスタンプで2回抽選、5校目で3回抽選、・・・8校目で6回抽選というスタンプラリーが大好評で、午後3時30分の閉会まで混雑していた。これは大変良い企画であったと思う。各学校の

ブースには活気があった。スタンプ欲しさに？一人で何校も学校のブースを回ったためと思われる。入場者は約3600名とのこと。まずまずか。朝6時30分起床して帰宅夜8時。私は例年のごとく「進学相談コーナー」の相談スタッフであったが、今年は午前中相談者なし。これは初めてのことであった。高校受験生はそれなりにあったのだが、中学受験生がなかった。相談コーナーが一番奥だったからか？来年は手前にして欲しい。安田教育研究所の安田先生による「2008年度中学入試はこう行われる」という講演会はなかなか良かったと思う。少子化が叫ばれる中、私立が2校、公立一貫高が5校も開校されるといのはどうしたのか？新たな受験層の開拓というが、本当にしっかりした学力のある子がそんなに大勢いるのだろうか？甚だ疑問である。まずは無事終了することが出来てほっとしている。



相談者が切れない各ブースの様子。熱心に先生の説明を聴いている親子の姿が印象的です。終了の3時30分まで盛況であった。



大好評だった「2008年中学入試はこう行われる」講演会の様子。写真は受験情報を話されている安田教育研究所の安田 理先生と熱心に説明に聞き入る保護者の方々。

塾と学校に役立つ

教育総合展ご案内

主催：全国学習塾協同組合
2008年1月14日(祝日)
東京国際フォーラム B棟7階ホール
(JR山手線有楽町駅フォーラム口1分)



塾教材の新しい流れは何か

学習塾直販教材各社の新年度用通年教材のすべてが一同に、
新学期からの教材選びに

テストはどこを選んだらいいのか

月例テストなどテスト各種展示

塾で使用するコピー・FAX・机はなにがいいか

デジタル複合機など新機種を各社展示

塾の管理ソフトを考える

生徒管理・時間割管理・経理などのソフト

塾のチラシ専門業者のアイデアは

塾のチラシ専門業者のアイデアは

個別指導のノウハウは

コンピュータを使ったシステムや、新しい個別指導の
あり方を徹底研究

多角経営を考えてみよう

幼児教育・英会話・作文・読書

防犯機器・到着メールも展示

安心メール・入退館メール

数学検定・日本語検定など

塾内を会場として実施できるチャンス

中高入試直前案内・パンフ・二次募集

首都圏の入試ダイアリー配布 私立学校尾の案内も多数展示

千葉学習塾協同組合・設立20周年記念式典盛大に開催される

10月21日、多くの私塾ネット会員が所属する千葉学習塾協同組合(松浦重雅理事長・加盟塾数115塾)の設立20周年記念式典が、船橋市の三井ガーデンホテル船橋ららぽーとで開催された。

第一部の記念式典では、10周年の「カンボジアの子ども達に学校を贈ろう」、15周年の「三番瀬を歩こう」そして20周年の「植樹祭と里山活動」と各周年の記念事業が報告された。10周年事業のカンボジアに学校を贈ろうでは、NPO法人ASAC(カンボジアに学校を贈る会)が、記念事業で10年前に贈ったサラクラウ小学校の現状を報告し、学校修復のための基金募金を訴えた。

第二部は20周年記念事業関連の講演会であった。今年5月、組合では小中学生350名による記念植樹を実施、里山「JACの森」の管理運営を開始した。講演会ではちば里山センターの金親会長が、日本の林業の深刻な現状を報告し、自然環境の破壊と人間のかかわりについて警鐘を鳴らした。

第三部の懇親会は参加者150名が着席式のパーティーを楽しんだ。メインのアトラクションはマジックショーとテーブルマジック。TV等で人気の

あるクロウズマジックを目の当たりに体験し、客席からは喝采の声があがっていた。帰りには設立記念誌「大樹」が記念品として贈呈されたが、タイトルの「大樹」の命名者は谷村志厚私塾ネット理事長(元組合理事長)で宴席で賞金が授与され、「出来レース」との声がかかった。しかしこれは公募互選で採用されたものである。谷村さんの名誉のために、一言断わっておきたい。

広島から山口会長も出席された。お相手をするのは仲野センター事務局長



お祝いにかけつけた私塾ネットのメンバー。主催側の谷村氏をはさんで、左から長江、

塾舎訪問 ナカジユク

私塾ネット事務局

仲野 十和田



広々としたオープン教室内で授業を受ける塾生たち

今年度、エリア関東で菅谷友豊香先生を座長とする『企画部』が立ち上がりました。目的は、経営状態が思わしくなかったり、やり方がわからない塾への支援です。ということで、私仲野が真っ先に手を上げさせていただきました。今年7/1に商店街の真ん中の新築マンション2階に塾舎を移動することに決まりましたが、何も無い40坪の空間にどんな物を置こうか？真剣に悩んでいた矢先のことでした。菅谷先生には、引き渡しひと月前の内覧会にいらしていただきました。キャスター付きの鞆にカタログをたくさん持って、ご子息の隆臣先生とご一緒に。それまで、イメージしていた机などが探さずじまいでしたが、菅谷先生のアドバイスでそれが明確になっていき、いるものいないものも区別出来ました。実は、この日の午前中に引き渡しのために管理会社の方と部屋の修繕箇所の最終チェックを済ませていました。ところが、菅谷先生にかかると「ここも汚れてますね」「このクロスは切れてますね」といった感じで、きめ細かな最終検査をしていただき、本当に助かりました。

今回、菅谷先生の来訪の件を事前にナカジユクの職員に話すと、「是非自分の教室を見てほしい」と言う教室長がいましたので、当日突然お願いしたところ快く引き受けてくださいました。すぐさま高速を飛ばして移動して、まず拝見したのが、息のぴったり合った親子共同のポスター貼り。お見事でした。その他にも、参考になることが多々ありましたが、菅谷先生のお言葉の中で一番印象に残っている

のは、「教室をきれいにしていく判断基準簡単で、それが美しいか？美しくないか？ということですよ。」つまり、ポスターが真っ直ぐに貼られていなければ、「美しくない」ですね。

本当に来ていただいて良かったと思っています。第三者に塾を見てもらう、さらに指摘を受けることを前提にとなれば、躊躇があるかもしれませんが、ご興味のある方は是非お試しください。エリアを超えて活動をしていく予定です。

私塾ネット エリア関東企画部 菅谷 友豊香 塾舎訪問

総務省の統計によれば、ここ5年間で36%の塾が廃業又は閉鎖に追い込まれ、同数以上の塾が新設されているという。総数には大きな変化はなく問題ないように見えるが、消えていったのは殆どが個人塾で、新設されたのは大手塾の分教場だそうだ。この数字からも塾業界の厳しさを垣間見ることができる。ここ数年、幾人もから塾閉鎖の便りが届き、その度、手伝えることはなかったのだろうかと胸を痛めた。「小さな個人塾を元気な塾に・・・。」という思いが今回の企画部設立の動機となった。個人塾が消えていった背景には様々な要因がある。外にあっては大手塾の影響、内にあっては後継者・教職員の不足。だが、果たして本当にそれだけだろうか。灯台下暗しというように、自塾のことは案外解っていないものだ。しかし、個人塾だからこそ、やり方次第でいくらかでも伸びる土壌がある。費用をかけずとも、塾長の心がけ次第で塾舎を改善することは可能だ。私達は塾経営で生計を立てている以上、収益なくしての存続は不可能であり生徒達の為にも儲けは不可欠である。儲けるという字は見ての如く信者と書く。教室に通う生徒と親を自塾の信者にしよう。その為にはまず、安心してわが子を預けていただける塾舎創りをすることだ。塾長や教職員の対応はもちろん、しっかりとしたデータに基づく資料の準備と提示、教室の美化、整理整頓、これらの基本失くしてはありえない。だが私達塾経営者は、毎日のノルマ（授業等）に流されて、肝心なことをつい後回しにしていることが多い。先日、仲野十和田先生からお声がかかり企画部の初仕事は塾舎訪問となった。大手FC学習塾本部のスーパーバイザーとしての経験を活かして、板橋新教室ではレイアウトや什器の相談を主に行い、東川口教室ではセールスポイントを確認し、ピーアール方法をチェック。やはり収益増のためにも、第三者の目から見られる機会を得ることは重要である。（といっても、要は灯台下を小さな懐中電灯で照らしただけの余計なお節介に過ぎないのだけれど・・・。）さて、次はどんな仕事か舞い込んでくるだろう。- 皆様のお役に立てる日を心より楽しみにしています -

「鈴木三重吉」と「赤い鳥」と「広島文化」と…
広島私塾連盟20周年記念式典

広島私塾連盟20周年
私塾ネット エリア中国

広島私塾連盟理事長
河浜 一也



挨拶する河浜一也広島私塾連盟理事長

広島私塾連盟の20周年記念式典は9月9日日曜日、広島市のリーガロイヤルホテルにて、国務大臣・岸田文雄氏、衆議院議員・増原義剛氏、衆議院議員・松本大輔氏をはじめ、県議会議員や塾関係者・私学関係者・教材関係者など総勢280名の参加を得て、盛大に行われました。

最初に行われた25周年記念式典では、河浜の挨拶、3名の国会議員の方々のご挨拶、広島県私学協会会長の山中幸平氏のご挨拶につづき、今回の広島私塾連盟20周年を記念して行った「赤い鳥」読書感想文コンクールの表彰式を行いました。

有名な童話童謡雑誌「赤い鳥」の編者鈴木三重吉の墓が広島市にあることも、三重吉が広島市に生まれたこともあまり知られていません。彼は広島出身です。

青年となった彼は東京帝国大学に学び、夏目漱石の講義を受けて敬愛の念を深めますが、失恋の痛手で神経衰弱となり1年休学。広島県能美島で療養します。そんなとき漱石から、「島を材料にして、小説のようなものでも書いてごらんさい」との励ましを受け、これをきっかけに、叙情的空想的な処女作「千鳥」を書き上げました。この作品が「ホトギス」誌上で発表されて文壇に登場するのです。この後、彼は小説家として次々に作品を書き上げます。大正4年には「三重吉全作品集」（全13巻）を刊行しました。しかし、彼は、小説の執筆をやめてしまいます。そのきっかけは、長女すずの誕生でした。彼はわが子に読み聞かせる読物をと書店を回りましたが、並んでいるのは、戦記物や英雄物ばかり。

り。多感な時期の子どもが豊かな感性を身につけていく読物が全くなかったのです。驚いた三重吉は、子どもたちのための新しい読物を世に送り出す決心をしたのでした。

大正7年7月、「子どもの個性を尊重し、それを引き出すような、芸術の薫り高い童話と童謡を創作する最初の運動を起こしたい」という願いのもと、5千人以上の会員を得て、わが国初の童話童謡雑誌「赤い鳥」を創刊。芥川龍之介の「蜘蛛の糸」、北原白秋の詩をはじめ、島崎藤村、泉鏡花、徳田秋声、小山内薫ら、多くの作家が、この創刊号に寄稿しました。また、「子どもたちが心から歌える歌を作りたい」と、詩人西条八十に依頼。同年の「赤い鳥」11月号に、「かなりや」が掲載されると新進の作曲家・成田為三が、「かなりや」に曲をつけ、苦難の末、大正9年6月、これをレコード化。わが国最初の童謡レコードを世に送りました。

さて、各地にいろいろな文学者の文学館が次々につくられる中、かえりみられない彼の業績。広島では、原爆にかかわる平和運動こそ尊ばれます。被爆地として当然のことであり、被爆2世である私自身も平和への活動には少しは積極的であるつもりです。しかしだからといって価値ある多くの文化を眠らせておいていいものではありません。

こうした決意の下、今回の「赤い鳥」読書感想文コンクールは行われ、大賞受賞の小中学生の満面の笑みを見ることができたのです。三重吉先生が死ぬ間際まで赤色鉛筆を握り、子供たちの作文を添削されたのと同じように、子供たちの輝く瞳を見ることができたのです。

さらに会は、毎年行われる私立学校説明会・教材教具展および懇親会と続き、丸一日をかけたイベントは終了しました。関係各位に心より感謝申し上げます。



表彰する長崎昭憲鈴木三重吉『赤い鳥』の会会長

第19回「塾の日」フェスティバル in 宮城



時：2007年10月7日
 於：松島・ホテル大観荘

全国から塾人集合、出席者は130名に迫る

10月7日、秋晴に恵まれた宮城県松島に全国から学習塾関係者が集合した。会場は眼下に日本百景の景勝地松島を見下ろすホテル大観荘。私塾ネットの会員は主催団体(社)全国学習塾協会の重要な構成メンバーでもある。今大会の所轄である北東支部のみならず、西は中四国の会員まで各地から参集、その顔ぶれを見ればまことに頼もしいかぎりであった。ところが定刻の開会時間になっても、仲野事務局長率いる私塾ネット関東の先乗りメンバーの顔が見えない。どうやら連休の大渋滞に巻き込まれたもようで、携帯に悲鳴の電話連絡が入った。

第一部 塾の日記念式典

午後1時30分、式典開会の挨拶に立たれた全国学習塾協会伊藤政倫会長は、新任の挨拶をされた後、社団の19年を振り返りその成果を報告されるとともに、先人のご尽力に対し謝辞を送られた。ま

た、岐路に立つ日本の教育界の現状と民間教育機関たる塾の存在を再認識し、「会員の皆様の納得のいく協会運営を遂行し、学習塾業界全体の発展に十分貢献できる力を持つ、名実ともに業界の代表としての協会を目指し努力する」と高らかに宣言をされた。

式典はご来賓の祝辞、功労者表彰、読書作文コンクール表彰と定番の式次第で進行した。そんな中で前会長の石井先生が、カメラを片手に動き回っておられるのに気づいた。会長現職の折には考えられぬ光景であり、ほほえましく感じられたが、その理由はすぐに判明した。なんと石井先生の塾生が、読書作文コンクール小学生の部で大賞を、中学生の部で最優秀賞を受賞しており、生徒の引率を兼ねておられたのであった。会長職を辞されて半年、塾長本来の仕事にもどられ、まことに伸びやかにかつはつととされておられる姿にいたく感銘を受けた。

深い感動を残した第二部基調講演

いささか眠気を誘うのが式典の進行だが、これに続く第二部の基調講演では、出席者皆の眠気も吹っ飛ばす事態となった。講師はチベット出身の女性でバイマヤンジンさん、テーマは「私の見た日本と故郷チベット」。チベットの貧しい農家に生まれたが、たぐいまれな才能を発揮されて、国立四川音楽大学に進まれた。中国においてチベット族でそれも女性が大学教育を受けることは、きわめて稀な事例だ。その後日本人の男性と知り合い結婚をされ、1994年来日。以来大阪に在住し家庭生活を送られる一方で、音楽と講演の活動をされている。また、故郷チベットに学校を建設する活動も実行されており、すでに10校の学校を贈られている。流暢な日本語と日本人とまったく変わらぬ容姿だが、大阪仕込みのユーモアたっぷりの語り口からでてくる発言は強烈な印象を与える。漢民族が支配する中国の中のチベットの現状、日本の教育の問題点、異文化の中にみる家族のあり方、教育のあり様など、そのメッセージにこめられた真実はまことに深いものがあった。最後に日本の童謡とチベットの民謡の熱唱で講演を閉められ、聴衆に深い感動の余韻を残した。

第三部 親睦交流会・懇親の夜は深く進行

5時30分、塾の日フェスティバルのもうひとつのお楽しみ、親睦交流会の始まりである。交流会の席に残ったのは約100名か。さすがに海の幸の豊富な東北宮城、パーティー料理も魚介類がふんだんに用意されて、都内のホテルのパーティーとは一味違っている。一部から三部まで半日におよぶ大イベントを取り仕切ったのは社団東北支部の皆さん。その中で実行副委員長の重責は、私塾ネット東北代表の畑山篤先生で、かなりきつい準備状況だったとお話をうかがった。

挨拶に指名された私塾ネット谷村志厚理事長は、「大会の準備は『きつき、きびしい、苦労が多いの3K』でお疲れ様でした。なにしろここは日本三景の松島でして・・・」とやって、失笑をかっていた。(一部にはうけておりましたが)



そして第四部。三々五々の解散後、静かに語り合う者(いたかな?)カラオケを熱唱する者、さらに一升瓶をころがす者など、それぞれのポジションで秋の夜長を楽しんだようである。中には仙台まで車を飛ばし課外授業をされたグループおられたとか、ムムム・・・やるな若手の諸君。



修学旅行を楽しむ私塾ネット関東の生徒?の皆さん

第五部 松島やああ松島や松島や

翌8日、私塾ネット関東のメンバーは仲野、渡辺両氏の車に分乗し景勝松島の観光へ出発。あいにく天候は下り坂、小雨もぼつぼつ落ち始めたが、まずは湾内観光遊覧船の客となった。カモメの大群を引き連れての島巡りを堪能したが、島の多さよりカモメの多さに感動するありさまで、二日酔いの脳は未だ全開せずであった。陸に上がるとその足で瑞巖寺へ参拝する。まるで修学旅行のごとく、ガイドさんの後をぞろぞろと国宝瑞巖寺見学。「瑞巖寺は正式名称を『松島青龍山瑞巖円福禅寺』といい、現在臨済宗妙心寺派に属しております」。知ってました?旅先では夜遊びより勉強が第一ですよ。

(文責・谷村)

緊急報告!あの感動を再び。 全国研修大会にヤンジンさんを招聘

我々はヤンジンさんの講演にいたく感銘を受けたが、ここで動いたのが仲野事務局長。この方やることは速い。理事長の了解をとるや、その場で来年4月の研修大会の講演を依頼する。その後スケジュール調整の結果、講演を快諾いただいた。お話の内容から、保護者や生徒にも講演を聞かせたいとの声も多く、これまでの私塾ネットの研修大会とは一味違った形で、講演と歌のステージを演出したいと意気込んでいる。



バイマヤンジンさんのプロフィールや活動の様子は、以下のホームページでご覧いただける。ご興味の向きはお試ください。

<http://www1.odn.ne.jp/ccb79800/>

エリア通信

エリア関東宿泊研修会 ??塾に役立つパソコンIT
研修・参加者20名

平成19年9月2日(日) 「於アイ・アカデミー」
午後1:30~午後6:30

私塾ネット エリア関東研修部長 大住 明敬

今回の研修はアイ・アカデミーの塾舎をお借りして、活発なものとなりました。日頃パソコンに疎いものにとっては大変刺激的なものでした。以下、監物と大住がご報告いたします。



『無料のアプリケーションの紹介とテキストボックスの使い方』を熱心に勉強している参加者

1:30~ 分科会A『無料のアプリケーションの紹介とテキストボックスの使い方』

まず最初は分科会になっていて、私(監物)は平林先生の部屋に参加しました。そこでは各自1台ずつのパソコンが用意され、講師の平林先生の話したことをすぐ実践する形で進められました。まず広報誌の原稿を基に、原稿のページの移動がどのようにされているかの説明がありました。その後、実際にいくつかのテキストボックスのリンクを作り、自動的に原稿が順番に移動できるかをやってみました。注意しなければならないことは、写真や絵は、1度貼り付けてしまうと移動できないので、必ずボックス以外の場所にとりあえず貼り付けておいて、後で移動させるのが、ポイントとのことでした。最初は上手く行きませんが、要領を得てくると結構スムーズにできるようになりました。最後に無料ソフトとして、いろいろな辞書やウィキペディアなどの紹介がありました。



『保護者会で使えるお話・数学の指導法』で講義をする碓先生

分科会B『保護者会で使えるお話・数学の指導法：碓先生』

変わって(大住)が碓先生の部屋を紹介します。いやあ、やはり碓先生の授業はすごい。新聞にも先生の塾ならびに授業内容が掲載されましたが、パワフルな内容で、失礼ながらお年を感じさせられませんか。インド式計算が今話題ですが、先生の指導はもっと分かりやすいものですね。舌を巻きました。これならお話を聞くご父兄の方々が、先生の塾に子供を預けようと思うのも無理ないです。参加して多いに得をしました。

また、授業をDVDにしたものもご紹介戴きました。某塾のベテラン講師が教科書を丁寧に授業するもので、国語の授業に悩んでいるものにとっては、一つの光明を見出すものとなった。しかも、先生の紹介があれば廉価で購入できる由、これは積極的に導入の方法を考えねばと思いました。



パワーポイントの講義をする浅野先生

3:00~ 『パワーポイントをいかに塾に活用するか：浅野先生』

さて、いよいよ今日のメイン研修です。パワーポイントの実践です。アイアカデミーのパソコンルームに用意されたPCと各自持ち込まれたPCの並ぶ部屋（壮観です）にて浅野先生のご指導を仰ぎました。少しは知識がありましたが、これほど簡単にでき、しかも旨くできるとはびっくりでした。まずは基になる題材を選択します。そしてそれを貼り付けた後、どうすれば巧く変化させるかを練習しました。又、同じものをコピーすることで動画のように楽しめることも分かりました。多くの絵や印・語句を効果的にアピールできるので素晴らしいと思いました。

これを塾の営業、教務にどう生かすか、それを考えることが今日の研修で得たものを生かすもの、やるぞと意欲が湧いてきました。浅野先生感謝します。



『パワーポイントの活用実践例』でご自身の力作のテキストを披露する谷村理事長

5 : 30 ~ 『パワーポイントの活用実践例：谷村先生』

どう生かすかを考えるうちに、次のプログラムが始まった。教務力アップの模範例でした。谷村先生ご自身が作成された理科の【光の性質】の実演がありました。中々見ているほうは楽しめるのですが、いざ自分で作るとなると、大変そうです。手間隙がかかるので、誰でもできる芸当ではないと感じたと思います。膨大な量のコマを、映し出す順番に並べ変えたり、原稿を書いたり拾ってくるのがとても時間のかかる作業です。でも、先生はやられたわけです。私たちも頑張るしかないぞと思いました。

場所を移しての懇親会は、和気藹々とした中でも、パソコンの必要性を皆さん感じ取り今後にかかすぞとの思いが漲ったものでした。色々のご配慮いただいた平林先生、また宿泊した朝、車で駅まで送迎していただいた川畑先生、この会が盛況だったのはすべて先生の行き届いたご配慮があったと感謝します。本当にありがとうございました。

私塾ネット エリア関東
研修会？ 修学旅行？

宇宙 里佳子

九月二日、三日と日本新記録の暑さで名を馳せた群馬県の館林で、私塾ネット主催I・T研修が行われ、参加させて頂きました。会場を提供して下さったアイ・アカデミーの川畑先生のご好意によりパソコンを貸し出して頂き、助かりました。ありがとうございます。

I・T研修は平林先生の“パワーポイントを駆使する前の基礎知識確認講座”から始まりました。ワードのテキストボックス等、知っているつもりが全くわかっておらず、活用できていなかったことが多々あり、よい勉強になりました。いつ平林先生に指名されるかとハラハラの講習も、今となっては楽しい思い出です。そして後半は、谷村先生の“パワーポイントをいかに授業に取り入れるかという応用編講座”でした。このようなパワーポイントを取り入れた授業を受けられる生徒たちは、暗記が苦でなくなり視覚から捉えて理解できれば、どんなに楽しく勉強できることでしょう。詳しく丁寧に説明して下さい、とても参考になりました。

講習後、アイ・アカデミーの校舎見学をさせて頂きました。無駄なくスペースを使い、またドアの色で教室を分けている工夫もありました。ドアの色に関しては何やら秘密のこだわりがあるようですが！！きっと川畑先生の塾ではユーモアあふれ、工夫をこらした魅力的な講義を展開されていることでしょう。

夜の部の懇親会では、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら、また飲み放題プランではもちろん元をとりました(?!)。宿泊は、白鳥が佇む癒しの宿、ハーブ湯付きホテルつつじヶ丘パークイン。紅二点、私と長江先生の奥様（見た目も気持ちも若く、素敵な方です）と部屋をご一緒させて頂きました。二人とも、年甲斐もなく(?)こっそりと宴会場から持ち帰ったワインを飲みながら、塾講師である前に母親である事、経営者としての立場、子育ての事など取り留めのない話で盛り上がり、夜がとても短く感じました。お互い同じ立場の女性として、一人で悩むより解り合って話げできたことは、とてもありがたいことでした。次の朝は、贅沢にも朝風呂。その後の散歩では、ホテルの目の前に広がるつつじヶ丘公園で、実際に白鳥を見ることができ感激しました。

いつ指名されるかとハラハラドキドキのパソコン講習から始まり、夜の宴会、夜中のおしゃべりと、いつの間にか時間が止まり、まるで学生時代にタイムスリップしたようで、日々時間に追われるストレスは、すっかりどこかへ飛んでいきました。という事で、一石三鳥の研修会でした。帰りは川畑先生の愛車で市内見学付き送迎、そして日本地図のお土産まで頂き、おんぶにだっこに肩車でした。私塾ネットの集まりはいつでも心温まるもので、私の居場所として大事にしたいと思っています。

私塾ネット エリア中国代表 北川 健治

9月13日(木曜日)私塾ネット中国の定例会が、広島市内のホテルニューヒロデンで行われました。連日猛暑の中の夏期講習会の激闘の後でしたが、元気に集いました。参加者は北川、山口恭、城、上原、岩石、佐藤、

河浜、田中達、吉長、西川、西本の11名。9月9日に行われたばかりの広島私塾連盟主催開催、創立二十周年記念式典の参加協力の御礼を同連盟理事長の河浜先生から披露されました。続いて、今秋開催の私塾ネット四国主催塾長研修会について、私、北川から、湯口先生からいただいた資料をもとに説明。その後、夏期講習会の各塾ごとの総括が、行われ、経営情報の共有、交換がなされました。夏期講習会の生徒募集の状況、残留継続についての工夫などの実践事例の紹介がなされました。そして、私塾ネット中国主催の定例の塾長研修会・忘年会の企画について最終発表がなされました。

塾長研修の極意は「自分の塾から一步、外へ出てみる。他塾へ行く。他塾の現場を見る。自分の塾の将来を考える。下手の考え、休むに似たり。先ずは動く。塾長が成長しなければ塾は成長しない。」ということだと思います。私塾ネット中国「塾を斬る」シリーズ改め、「塾を語る」シリーズ第1弾を今回、例年の忘年会研修会に企画として発表されました。私塾ネット中国の至宝、芸城学院グループ。城先生、加納先生のご好意で芸城学院グループを公開していただきます。現地に足を運んで、芸城学院を自分の目で確かめて、話を聞いて、来年の自塾の経営に何か取り入れることを目標とした研修会です。紅葉流れる錦川の錦帯橋の袂ですばらしい集いにしたいと思っています。詳しい内容は以下のとおりです。

期日；11月11日(日)開始15:00(流れ参加) 散会12日朝(現地)

場所；岩国国際観光ホテル・芸城学院グループ

対象；私塾ネット会員塾・塾長

参加費用；1人当たり25000円(全宿泊費用込み)

内容；第1部から第4部は車で移動。岩国観光ホテルを起点に矢継ぎ早に見学。

広島へ。いざ、芸城の本丸、芸城学院本部の見学

山口へ。岩国教室、東進衛星予備校の見学

加納先生が待つ芸城学院予備校の見学

ちょっと西へ。西岩国教室の見学 以上

15:00~17:30

第5部から岩国観光ホテル

研修会~塾経営学習の夕べ 我が塾を語る
芸城学院グループ 城忠道

忘年会

2次会アンド夜の研修会

深夜まで行われる討論座談会。私塾ネットが誇る自慢若手論客が口角泡を飛ばして塾経営、危機管理の実践、塾運営について熱く語ります。つまらない話になると、ピシッと長老が喝を入れます。

私塾ネット エリア北海道代表 入江 昌徳

すっかり秋深くなってしまった北海道です。この稿がお手許に届く頃には、あるいは平地で初雪が...ということになっているかもしれません。

10月7日、仙台松島にて、久しぶりに皆さんとお顔を合わせることが出来ました。谷村理事長、ますます谷村さんらしい個性が出てきてかっこよくなってきましたね、もっと...なのですが。さて、エリア通信と言うことですが、活動今一步のため、例によって秀英レポートにて代替と言うことで...

あれほど世間をにぎわした「対秀英予備校戦争」もひと落ち着きと言うところでしょうか？ 日々の様子の中では、秀英さんに恐さを感じることは余りありません。とは言っても、短い期間のうちに、札幌地区では2~3番手になってしまったわけですから、けっして侮れないことは間違い無いのですが、凄みとか手強さは本当に感じません。

授業に関する良い評判を耳にすことも皆無ですが、あちこち雑誌で書かれているように、生徒にかなりの褒章を渡してセールスマンに仕立てて、紹介で一本釣りの増強をしていることは間違いありませんね。長期的にはこれが効いてくるのでしょうか？ それとも、嫌気をさされるのでしょうか？ 大きなターニングポイントになりそうで、まさしく両刃の...ということでしょうか。

塾の日フェスティバルの前日、仙台市内を回らせていただきました。もちろん秀英です、目当ては。そこで感じたことは、仙台はみんな頑張って秀英を押し返したが、札幌はしっかり足を踏み込まれてしまっているな、ということでした。

私たちがやらなければいけないことは、まだまだありそうです。

私塾ネット 四国代表 湯口兼司

『四国塾長会議 in高知』



今から考えてちょうど20年前に四国松山市において『四国塾長会議』なるものが旧全塾連の主催にて開催されました。それは社団法人全国学習塾協会を設立させるための会員増強の一環として開催されたものだったと後からわかりま

したが、でも香川の片田舎で自己流に塾を創り、仲間もほとんどいなかった私にとってはとても魅力的な会でした。その当時の理事長だった落合先生をはじめ山口先生、二神先生、城先生などのビッグネームに加えて東京、千葉、埼玉、神奈川など関東地区の元気ばりばりの先生方、また地元に近い広島、愛媛の個性的な先生方、多分一番若かったらう36才の私を弟のように引き立て、また何でも教えて頂きました。帰省し、すぐ入会の申し込みを送りました。その後東京に行った際に石田先生に連絡すると、『柴又に来なさい。』LL教室のある塾舎を案内していただき、帝釈天の近くですき焼きをご馳走してもらったのを今でもはっきりと覚えています。また毎年広島で開催される研修会、特に『塾を斬る』シリーズは自塾の将来を考えるのに大変参考になりました。山口、村上先生の指導の下、香川で学習塾協会の支部を組織する際に、集まった塾長のうち本当に気の合った仲間だけでつくったのが『香川進学研究会』で、今はそのほとんどが私塾ネット四国のメンバーでもあります。六年前に三団体（全塾連、PTF、日私会）が合併するにあたり、四国エリアの充実と結束を図るために、それまで徳島には平井先生しか会員がいなかったのですが、『とくしま塾教育研究会』の楠山、近藤、松田先生が誘いに応じてくれました。ほんの5～6年の付き合いとは思えないほど、今では欠かせない貴重なメンバーであり大切な友人となってくれました。私塾ネット四国のほとんどの先生方は各県単位の塾団体で活躍されている先生方ばかりです。愛媛は愛媛学習塾連盟、全塾連時代の四国の支部長であった川原先生や十亀先生はお二人とも愛塾連の会長でもありました。さて残すは高知です。私塾ネット四国と言いつつ高知の先生はまだ入会していただけていません。昨年『高知で研修会をやりたいんだけど。』と楠山先生に相談すると『高知にも素晴らしい先生がたくさんいるよ。くろしお進学会の岡田先生に声をかけてみようか。』と言ってもらい、今回の『四国塾長会議 in 高知』の開催の運びとなりました。この度の研修会を開くにあたり土佐ゼミナールの岡田先生には会場の準備、価格交渉、高知の塾、高校への呼びかけまでも全面的に協力をして頂きました。今回事例発表をしていただく10人の先生方、及びタイトルは全て私が自分の思いで勝手に決めさせていただきました。この先生のこの話が聞きたいという私の思いです。10月28日(日)ホテル日航高知 旭ロイヤルにおいてまさしく私塾ネット四国の集大成とも言える研修会が開催されます。日程の関係で私塾ネット関東と徳島の先生方にはご迷惑をおかけしました。それでも今日現在までに42名の素晴らしい先生方の参加申し込みを頂いております。意義ある研修会にして、新年号にて詳細をご報告いたします乞うご期待!!

各 部 報 告

私塾ネット渉外部長

佐藤勇治

1 全日本学習塾連絡会議

(1) 第8回 世話人会

日 時：9月3日(月) 10:00 - 12:00

会 場：全国学習塾協同組合 事務所

出席者：菅原明之、稲葉秀雄、岡田保雄、

玉城邦夫、谷村志厚、佐藤勇治

内 容：各団体の行事予定の報告と調整

(2) 第83回 全日本学習塾連絡会議 / 第28回 私立中高進学相談会 第2回 実行委員会

日 時：9月6日(木) 10:00 - 12:00

会 場：新宿NSビル 13F 会議室

出席者：16学習塾団体 30名

内 容：第28回 私立中高進学相談会の準備(動員のお願い、当日の役割分担ほか)

第88回 全日本学習塾連絡会議
(各団体の行事報告～2007塾の日フェスティバルほか)

大島九州男衆議院議員(民主党・全国区) 当選お礼

(3) 第84回 全日本学習塾連絡会議

日 時：12月2日(日) 16:30 - 17:45

会 場：ホテルグランドパレス(九段下)

内 容：平成19年度 各学習塾団体行事報告(忘年会、新年会、教材教具展示会など)

2 埼玉県私塾協同組合

(1) 創立20周年 記念式典・記念講演・祝賀パーティー

日 時：9月23日(日) 14:00 - 19:40

会 場：大宮ソニックシティ 4F ・大宮パレスホテル 3F

出席者：約110名

内 容：祝賀パーティー バイオリンの演奏会・祝辞など

記念講演：「若者の自立とは」

講師 小浜逸郎氏(評論家、国土館大学客員教授) 「脱地球温暖化戦略」

講師 末松義規氏(民主党、衆議院議員)

(2) 私塾フェア

日 時：平成20年(2008)3月9日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

内 容：講演会・教材教具情報展

3 NPO法人 学習塾全国連合協議会(塾全協)

(1) 第28回 私立中高進学相談会

日 時：9月17日(祝・月)11:00 - 15:30

会 場：新宿NSビル B1F 展示ホール

出席者：約3500名

内 容：私立中学・高校135校 参加
最新入試資料配布、特別セミナー、受験相談コーナー

- (2) 第33回 NPO 塾全協 全国研修大会
日 時：11月3日(祝) 15:00 - 18:45
会 場：ロワジュールホテル那覇
内 容：沖縄から日本の教育を考える - 蘇れ、日本の子どもたち

4 東京私塾協同組合

- (1) 親と子の「私立・都立中学高校受験相談会」
日 時：10月7日(日) 13:00 - 15:30
会 場：ホテルグランドパレス2F(九段下)
出席者：約800名
内 容：私立中高、都立高校141校、国立など6校 合計147校が参加
- (2) 塾団体合同忘年会
日 時：12月2日(日) 18:00~
会 場：ホテルグランドパレス(九段下)

5 社団法人・全国学習塾協会

- (1) 塾の日フェスティバル 2007
日 時：10月7日(日) 13:30 - 19:15
会 場：宮城県 松島・ホテル大観荘
出席者：128名
内 容：記念式典、基調講演、親睦交流会
基調講演：講師 バイマーヤンジン氏(チベット出身の女性オペラ歌手)
「私の見た日本と故郷チベット~天に一番近い大地~チベットからのお話~」

6 社団法人 かながわ民間教育協会

- (1) 私学・私塾フェア / 神奈川・東京私立中高進学相談会
9月30日(日) 町田会場 ホテル・ザ・エルシィ町田
9月30日(日) 小田原会場 川東タウンセンター・マロニエ
10月13日(土) 横浜会場 パシフィコ横浜・アネックスホール

7 民間教育連盟

- (1) 民間教育連盟は、7月29日(日)実施の 第21回衆議院議員選挙で12名(自民党11名、民主党1名)の方を推薦しました。
選挙の結果、自民党7名、民主党1名の計8名の方が当選されました。
(祝) 当選された新議員の方々

愛知治郎(宮城)、小林 温(神奈川)、鈴木政二(愛知)、谷川秀善(大坂)、鴻池祥肇(兵庫)、

世耕弘成(和歌山)、加治屋義人(鹿児島)、大島九州男(全国比例 民主党)

8 進路指導研究会(東京私塾協同組合 共催)

- (1) 都立高校に関する説明会
日 時：10月16日(火) 10:00 - 12:00
会 場：都庁第二本庁舎31F 特別会議室2
出席者：高島なおき都議会議員、新井清博学務部長、学習塾関係者 49名
内 容：平成20年度 都立高校入学者選抜について

9 NPO法人 全国教育ボランティアの会

- (1) 第2回地域で行う「子育て事業」支援フォーラム、「生きいきワクワク体験・親子の集い」
日 時：9月23日(日) 9:00 - 16:30
会 場：北海道根室市 日専連ビル 2F
出席者：約154名
内 容：ミニプラネタリウム作り、天才カメ君レース、天文教室
- (2) 第3回地域で行う「子育て事業」支援フォーラム、「生きいきワクワク体験・親子の集い」
日 時：10月14日(日) 9:00 - 16:00
会 場：鹿児島市 池田学園 池田小学校
出席者：162名
内 容：コンニャク作り、4×4 絵あわせ四次魔方陣、天才カメ君レース、天文教室
- (3) 第4回地域で行う「子育て事業」支援フォーラム、「生きいきワクワク体験・親子の集い」
日 時：10月28日(日) 9:00 - 17:00
会 場：岡山市 朝日学園 朝日塾小学校
内 容：コンニャク作り、4×4 絵あわせ四次魔方陣、天才カメ君レース、天文教室
- (4) 第5回地域で行う「子育て事業」支援フォーラム、「生きいきワクワク体験・親子の集い」
日 時：12月8日(土) 9:00 - 17:00
会 場：茨城県筑西市 筑西市立小学校
内 容：コンニャク作り、4×4 絵あわせ四次魔方陣、天才カメ君レース、天文教室

浜ヒサカキ



開花期間 十一月十日~十二月十日頃

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 仲野十和田

10/7(日)、(社)全国学習塾協会主催の「塾の日フェスティバル」が宮城県の松島(大館荘)で行われました。私は、監物先生、渡辺(浩)先生と共に前日に車で仙台に入り、翌日現地に向かいました。通常40分位で行かれると聞いていたので、余裕を持って2時間前に出発したのですが、なんと噂に聞いていた大渋滞に遭い、余儀なく遅刻となってしまいました。

第一部は記念式典、第二部は講演会でしたが、講演者はチベット出身の音楽家『バイマーヤンジンさん』でした。民族衣装を纏っていたので、日本人ではないことは判別できますが、そうでなければ顔は日本人と同じです。「なぜ、同じ顔していて、こんなに生活レベルが違うのか？」大学時代に今のご主人(日本人)と知り合い、日本(大阪)に住み、日本の豊かさと自国の貧しさの差を感じ、日本の識字率高さを知ることによって教育の必要性を痛感したとのこと。そして、最初はファーストフードでのアルバイトを通してお金を貯め、現在は政府の協力も得

て、小学校9校、中学校1校を設けられているそうです。日本では教育現場を中心に講演活動をしていて、チベットの現状を伝え、教育を受けられることが如何に幸せなことか、日本はどれだけ豊かで、その豊かさに痺れていることなどを中心にお話されているそうです。語彙力のある日本語で、また一方で関西弁の語り口調からくる面白さからか、久しぶりに心に残る講演を聞いた気がします。会場にいた何人かの中学生男子が、席を立って拍手をしていたのが印象的でした。最後に...これがまた感動のクライマックス!実際に体験してみてください。

ということで、来年の私塾ネット全国研修の講演者が決定いたしましたので、乞うご期待を!

日付:2008年4月27日(日)

場所:アルカディア市ヶ谷(私学会館)

基調講演:バイマーヤンジンさん

余談ですが、翌日朝食会場でヤンジンさんご夫婦と一緒にになりました。とても仲良さそうな雰囲気伝わってきましたが、その後、会場を出て手をつないで廊下を歩いている後姿が印象的でした。

閑話休題

理事長 谷村 志厚

例年のことだが、10月はまことにあわただしい月だ。今年はこれに拍車がかかっていた。まず第1週の10月7日は宮城県松島での「塾の日フェスティバル」、14日は東京で全国の協同組合主催の勉強会、21日は千葉県船橋での千葉学習塾協同組合設立20周年記念式展と続き、翌週の28日は高知市で「四国塾長会議」。次の週には沖縄でNPO塾全協の全国研修大会があったのだが、さすがにこれは勘弁願って、渉外部の佐藤先生に代行をお願いした。先生は全国学習塾連絡会議事務局長のお立場で出席されることなので、これに便乗をさせていただいた。...とまあこんなふう書き出してみたが、山口会長と渉外部佐藤部長は上記の行事のほとんどに顔を出されていることに気付いた。ご高齢なうえに遠方から。今後不平や愚痴は言わぬこととしよう(社)全国学習塾協会が経済産業省の肝煎りで、学習塾講師能力評価システムの構築を進めている。いわゆる学習塾講師資格検定で、すでに昨年度は集団指導2級の骨子をまとめ、来年度から本格運用をするそうだ。これに加えて集団1級検定の設計が始まった。2級検定でいくらかお手伝いをした縁もあり、1級策定の研究員を委嘱された。10月30日、第1回研究会が開かれた。研究会構成員は、社団から伊藤理事長、最大手塾栄光の広報部長の横田氏、神奈川の大手塾中萬学院の中萬代表そして私塾ネットから私。これに学識経験者として大学の教授3名が加わる。経産省

のお役人がオブザーバー参加、とりまとめ役としてみずほ情報総研のスタッフが同席するという陣容である。来年3月まで5回の研究会を経て1級の骨子を完成するという段取りだ。そもそも学習塾に講師資格検定が必要かとの議論となると、塾の現場の方の多数はNOという立場であろうと思う。ましてや私塾ネットを構成する多数の中小塾の意見は、まさにそうであろうと想像に難くない。では大手塾の考えはどうか。意外ではあるが、やはり決して歓迎はしていないのである。しかしながら企業塾は資格制度ができればできたで、人事面や広告面でこれをうまく使われるであろう。したがって、これからの研究会の議論では、当方は中小塾の視点での発言に心がけたい。今後の経緯は折にふれて報告をさせていただこうと思う。28日に高知で開かれた「四国塾長会議」に出席した。私塾ネット四国主催の研修行事だが、この会議には香川の湯口先生の積年の執念がこもっていた。湯口さんが先頭に立って一切を差配していた。これまで四国の塾団体のうち高知県がいわば没交渉の状況にあった。私自身四国の出身者なので、四国四県のまとまりの悪さはよくわかっている。それも高知には他県と比べても独特の風土がある。なにしろ明治維新の原動力となった気風であり、坂本龍馬を生んだ土地である。なにやら歴史上の出来事と重ね合わせて「塾維新」の時代の幕開けに立ち会った心境になった。今後の展開が楽しみである。

賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校	村山 ヲトラ先生
東京都渋谷区本町3-2-2	03-3376-2244
江戸川学園取手中学高等学校	竹澤 賢司先生
茨城県取手市西1-37-1	0297-74-8771
十文字中学高等学校	卯木 幸男先生
東京都豊島区北大塚1-10-33	03-3918-0511
東洋高等学校	野間 一夫先生
東京都千代田区三崎町1-4-16	03-3291-3824
桜丘中学高等学校	品田 健先生
東京都北区滝野川1-51-12	03-3910-6161
聖徳大学附属中高等学校	川並 芳純先生
千葉県松戸市秋山600	047-392-8111
麹町学園女子中高等学校	伊藤 暁先生
東京都千代田区麹町3-8	03-3263-3014
春日部共栄中学	宇野 禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213	048-737-7611
大成高等学校	森 保先生
東京都三鷹市上連雀6-7-5	0422-43-3196
東京学園高等学校	須藤 勉先生
東京都目黒区下目黒6-12-25	03-3711-6641
東京立正中学高等学校	藤井 教戒先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	03-3312-1111
八雲学園中学高等学校	横山 孝治先生
東京都目黒区八雲 2-14-1	03-3717-1196
関東第一高等学校	副田 康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11	03-3653-1541
武蔵野中学高等学校	福澤 清一郎先生
東京都北区西ヶ原4-56-20	03-3910-0151
神田学園中学高等学校	齋藤 元治先生
東京都千代田区永田町2-19-1	03-3291-2447
和洋国府台女子中学高等学校	太田 陽太郎先生
千葉県市川市国分4-20-1	047-371-1120
東京文化中学高等学校	上前 善勝先生
東京都中野区本町6-38-1	03-3381-0196
文京学院大学女子中学高等学校	水上 茂先生
東京都文京区本駒込6-18-3	03-3946-5301
京北学園中学高等学校	実方 隆志先生
東京都文京区白山5-28-25	03-3941-6253
大森学園高等学校	河嶋 正先生
東京都大田区大森3-2-12	03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校	増澤 文徳先生
東京都北区豊島8-26-9	03-3911-2786
日本工業大学駒場中学高等学校	河村 文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130
青稜中学高等学校	多々良 昭典先生
東京都品川区二葉1-6-6	03-3782-1502
東京女子学園	実吉 幹夫先生
東京都港区芝4-1-30	03-3451-6523
駒込中学高等学校	河合 孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25	03-3828-4141
爱国中学高等学校	高橋 英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1	03-3658-4111
日本橋女学館中学高等学校	羽田野 敦先生
東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6	03-3662-2507
安田学園中学高等学校	福谷 隆芳先生
東京都墨田区横綱2-2-25	03-3624-2666
多摩大学目黒中学高等学校	福本 明男先生
東京都目黒区下目黒4-10-24	03-3714-2661
科学技術学園高等学校	高塚 聡先生
東京都世田谷区成城1-11-1	03-5494-7711
日本音楽高等学校	中野 道代先生
東京都品川区豊町2-16-12	03-3786-1711
立正中学高等学校	今田 正利先生
東京都品川区大崎4-2-16	03-3492-4416
上野学園中学高等学校	高橋 公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12	03-3842-1021
二松学舎大学付属高等学校	木村 誠次先生
東京都千代田区九段南2-1-32	03-3261-9288
村田女子高等学校	
村田学園小石川女子中学校	武 雅祐先生
東京都文京区本駒込2-29-1	03-5940-4187

(株)パイロットコーポレーション	辻 豊様
東京都中央区京橋2-6-21	03-3538-3782
(株)教育企画ティーファイブ	山田 孝幸様
品川区北品川1-22-17-104	03-5479-7061
(株)創開コミュニティー	小林 和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202	04-7164-6511
(株)アズサコーポレーション	石野 ゆかり様
東京都渋谷区桜丘町29-31	03-3477-2011
ギガビジョン株式会社	櫻井 淳二様
東京都千代田区九段北1-4-5	03-3237-5861